

天狗が舞い降りた伝説息づく

藤谷神社

竹原地区に昔から伝わる天狗伝説とともに、「勝負」の神様（神社）として有名な神社がありますのでご紹介します。

【藤谷神社】・氏子は竹原区民

由緒

717年、神が「天竺の龍海山より阿蘇の峰へ降臨あり」と伝えられ、「里人は阿蘇山中の天狗岩（俗称天狗谷）に之を祀れり」とあります。その後、この祭神・大山祇神を天狗様として崇敬し現在地に祭り、里人の信仰を集めています。



天狗が舞い降りたとされる舞台(高岳東峰)

▶最初に降臨したとされる天狗谷。高岳の下の方に実在しています。ここは険しいですが登山で親しまれている景勝地です。高岳頂上からさらに30分ほど歩いた所にあります。



▲御仮屋に祭られた天狗の肖像。力士による相撲大会の際にも土俵近くに祭り開催していたそうです。

現在の社は昭和13年に再建されたもので昔は軍神として、武運長久祈願で有名でした。現在も尚武、勝負に通じるとして、試合・受験・就職・商売繁昌・交通安全など強運加護を願う人の参拝が県内外を問わず絶えません。※例大祭は旧暦の8月4日に行われています。



▲森林の中の神社とあって、階段を上がると、樹木の香りと静けさ漂う境内

試合、受験、就職などにご利益があることでも有名

昔は、力士たちも場所前に参拝していたそうで、その時は竹原地区の広場に土俵をつくり、地域あげでの相撲大会が行われていたそうです。現在も試合など「勝負に勝ちたい」という人たちが祈願に訪れています。藤谷神社の場所は、いこいの村駅から上がると、いこいの村手前のカーブ（左は果実の国COUPLES）の正面に大きな鳥居があります。それから300mほど進んだところす。

